



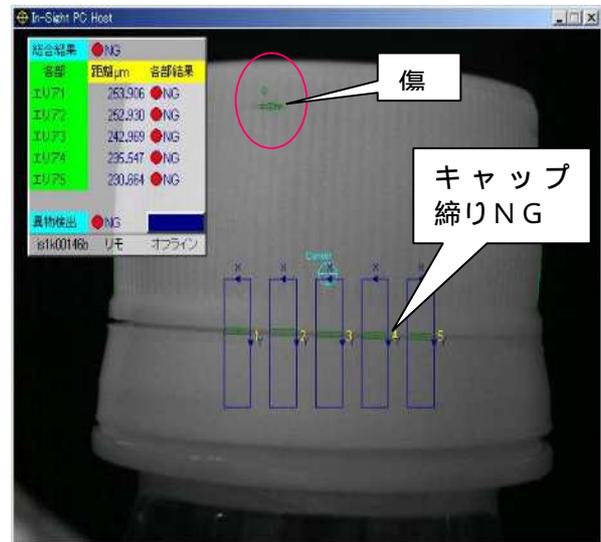
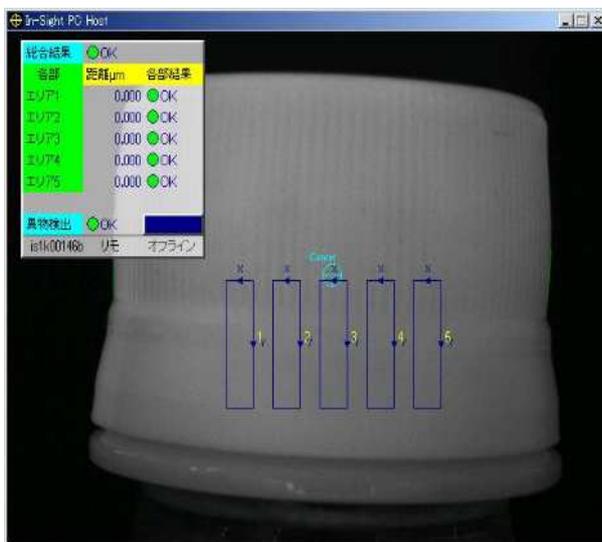
医薬品・食料品業界における品質管理は、日ごとに厳しさを増しています。これまで用いられてきた「目視検査」や「簡易なビジョンセンサー」では処理できなかった、ワーク自体の色相変化の乏しいペットボトルや医薬品ボトルの外観検査の問題を解決します。当社開発の画像処理装置（型式：V I 2 0 0 0 A）は、コグネックス社の In-Sight シリーズ画像処理装置を組み込んだ多機能型画像処理装置です。



VI2000A

ボトルキャップのギャップ検査

下記ボトルキャップの検査では、キャップ受けとの間のギャップの検査と、キャップの傷や成形ゴミや樹脂混ざりの検査を行っています。キャップの白と白地に出来たギャップを、50 μ程度の精度で検出することが出来ます。また当然、キャップ自体のボトル本体との適合検査（斜めにセット）も同時に行うことが出来ます。



ボトルや本体の傷・樹脂交じり検査

成形品である以上、生産工程において樹脂交じりや搬送段階での傷はつき物です。上右図は、キャップ上部についた傷を特殊な照明技術で捉えています。樹脂交じりも、一定の大きさを設定して、100 μレベルの検査が可能です。（30 * 30 mmキャップ）

搬送から検査、データ管理までの一環システム

当社は電子応用システムから、画像処理装置とメカトロ技術までの一貫したシステム開発を得意としています。個々のシステムを継ぎはぎ的に接合することなく、ネットワークでの管理システムを構築し、データベースでのデータ・情報管理を含め、ユーザー固有の品質管理システムへの通信まで、ユーザーの視点でシステムを考え、いつでも安心してお使いいただけるよう心がけています。

** 製品を品質に包んでお届けします **

ご用命は、こちらに。